

## ⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭61-100998

⑫ Int.Cl.<sup>4</sup>A 24 F 13/06  
A 24 D 3/06

識別記号 廳内整理番号

8114-4B  
7235-4B

⑬ 公開 昭和61年(1986)6月27日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑭ 考案の名称 脱臭剤入りパイプフィルター

⑮ 実願 昭59-187700

⑯ 出願 昭59(1984)12月10日

⑰ 考案者 美野 芳 隆 松戸市馬橋町319の3番地

⑱ 出願人 美野 芳 隆 松戸市馬橋町319の3番地

## ⑲ 実用新案登録請求の範囲

- 1 アスコルビン酸・鉄化合脱臭剤を付着した繊維体1で、パイプ用のフィルター2を形成してなる脱臭剤入りパイプフィルター。
- 2 アスコルビン酸・鉄化合脱臭紙1aで形成したフィルター2aに、小孔3を無数に設けた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。
- 3 アスコルビン酸・鉄化合脱臭紙1bを任意の数に巻いて、フィルター2bを形成し、その前後に合成繊維4を接着させた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。
- 4 アスコルビン酸・鉄化合脱臭合成繊維1cで形成したフィルター2cの周囲をアルミニュー

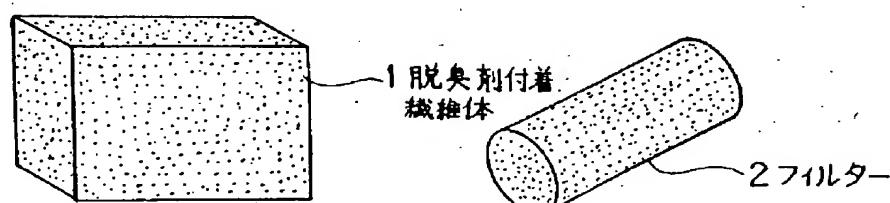
ム箱5で巻いた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。

## 図面の簡単な説明

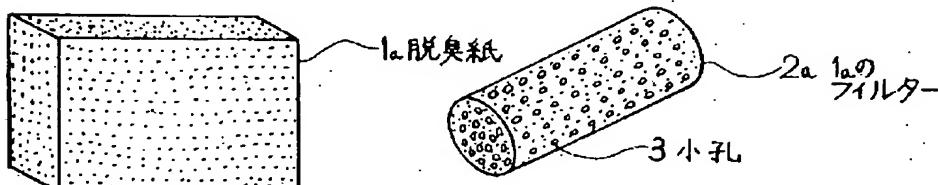
第1図は本考案の素材と第1実施例の斜視図、第2図は本考案の素材と第2実施例の斜視図、第3図は本考案の素材と第3実施例の斜視図、第4図は本考案の素材と第4実施例の斜視図、第5図は本考案使用のパイプの一部切断斜視図。

1…脱臭剤付着繊維体、2…フィルター、1a…脱臭紙、2a…1aのフィルター、3…小孔、1b…薄い脱臭紙、2b…1bのフィルター、4…合成繊維、1c…脱臭合成繊維、2c…1cのフィルター、5…アルミニューム箔、6…パイプ。

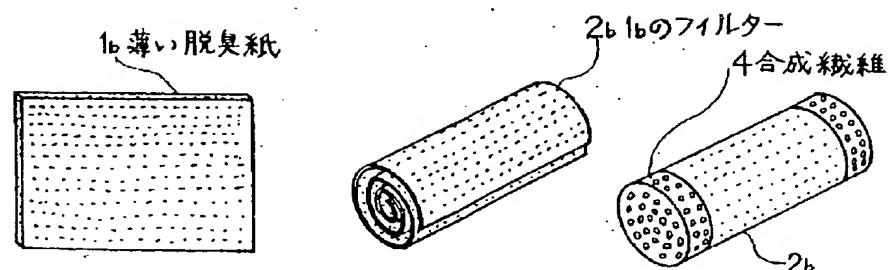
第1図



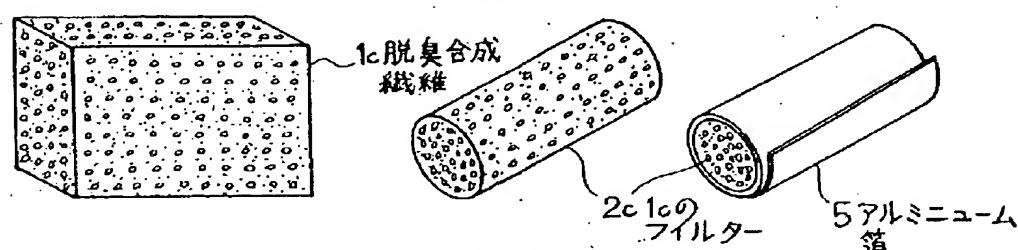
第2図



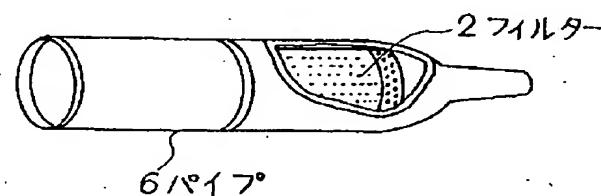
第3図



第4図



第5図



# 公開実用 昭和61- 100998

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭61- 100998

⑬ Int.Cl.<sup>1</sup>

A 24 F 13/06  
A 24 D 3/06

識別記号

厅内整理番号

8114-4B  
7235-4B

⑭ 公開 昭和61年(1986)6月27日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 脱臭剤入りパイプフィルター

⑯ 実願 昭59-187700

⑰ 出願 昭59(1984)12月10日

⑮ 考案者 美野 芳 隆 松戸市馬橋町319の3番地  
⑯ 出願人 美野 芳 隆 松戸市馬橋町319の3番地

## 明細書

1. 考案の名称 脱臭剤入りパイプフィルター
2. 実用新案登録請求の範囲
  1. アスコルビン酸・鉄化合脱臭剤を付着した纖維体(1)で、パイプ用のフィルター(2)を形成してなる脱臭剤入りパイプフィルター。
  2. アスコルビン酸・鉄化合脱臭紙(1a)で形成したフィルター(2a)に、小孔(3)を無数に設けた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。
  3. アスコルビン酸・鉄化合脱臭紙(1b)を任意の数に巻いて、フィルター(2b)を形成し、その前後に合成纖維(4)を接着させた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。
  4. アスコルビン酸・鉄化合脱臭合成纖維(1c)で形成したフィルター(2c)の周囲をアルミニューム箔(5)で巻いた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。

### 3. 考案の詳細な説明

#### (産業上の利用分野)

この考案は、アスコルビン酸と鉄化合の強力吸着脱臭剤利用のパイプフィルターに関するものである。

#### (従来の技術)

タバコの害は、ヤニやタールであるが、タバコを吸ったあと、このヤニやタールの臭さがいつまでも口の中に残り、不快さわまりなかった。ヤニやタールを取り除くフィルターはいろいろあったが、このにおいまで取るものはなかった。

#### (考案が解決しようとする問題点)

従来から、レモンや柑橘類にあるビタミンCが作用して、臭い匂いを吸着することは知られていた。最近、これを使用した強力脱臭剤(紙、布、合成繊維など)(PAT・P)があり、この脱臭剤を利用して、ヤニやタールの臭さを取るパイプのフィルターを考案した。

#### (問題を解決するための手段)

この考案の構成を図面において説明してゆくと

第1図の実施例に示すように、アスコルビン酸（ビタミンCの粒子）と酸化鉄の粒子を化合した脱臭剤の纖維体（紙、合成纖維など）(1)を利用して、パイプのフィルター(2)の形に形成する。

#### （作用）

以上の構成よりなる、本考案を使用するには、従来のパイプフィルターと同じく、パイプに入れて使用する。ヤニやタールによってフィルターが汚れたら、再び新しいフィルターと取りかえる。本考案のフィルタ入りパイプでタバコを吸うと、ヤニやタールが取れ、その臭さも取り除かれる。

#### （実施例）

第2図は、本考案の第2実施例を示す斜視図である。アスコルビン酸・鉄化合脱臭紙(1a)でパイプ用フィルター(2a)を形成し、タバコの煙の通る小孔(3)を、中に無数に設ける。

第3図は、本考案の第3実施例を示す斜視図である。本考案で使用する脱臭紙(1b)の薄手のものを使用し、フィルターの大きさに作り、3、4回巻いて、ほぐれないように、前部と後部に円柱形の

スポンジなどの合成繊維(4)を接着し、フィルター(2b)に形成する。

第4図は、本考案の第4実施例を示す斜視図である。アスコルビン酸・鉄化合脱臭合成繊維(1c)を使用し、フィルター(2c)を形成する。このフィルターをパイプに入れやすいように、アルミニューム箔(5)で巻いておく。

(考案の効果)

本考案は、活性炭の約百倍という強力脱臭剤(1)を使用するので、その強力な吸着脱臭作用によって、タバコのヤニやタールを取り、その不快なにおいも取り除き、タバコを吸った後、口の中のタバコ臭さがなくなり、タバコがうまいタバコに早変りする。

近年の医学の進歩に共なって、このヤニやタールそのものだけでなく、そのにおいまで、肺癌や胃癌の原因となることが立証されている。本考案の効果は、このにおいを取り、癌予防にもつながるすばらしい効果を發揮することになる。

本考案使用のアスコルビン酸(ビタミンC)の粒

子)は、活性炭よりもその粒子が何百倍も密なので、不快なにおいをことごとく吸着してしまうことは、既に実証されている。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の素材と第1実施例の斜視図

第2図は本考案の素材と第2実施例の斜視図

第3図は本考案の素材と第3実施例の斜視図

第4図は本考案の素材と第4実施例の斜視図

第5図は本考案使用のパイプの一部切断斜視図

(1)脱臭剤付着繊維体 (2)フィルター

(1a)脱臭紙 (2a) (1a)のフィルター (3)小孔

(1b)薄い脱臭紙 (2b) (1b)のフィルター

(4)合成繊維 (1c)脱臭合成繊維

(2c) (1c)のフィルター (5)アルミニューム箔

(6)パイプ

实用新案登録出願人 美野芳隆

図 面

第 1 図

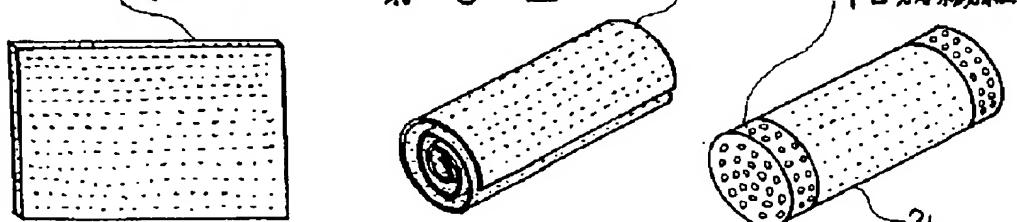


第 2 図



1b 薄い脱臭紙

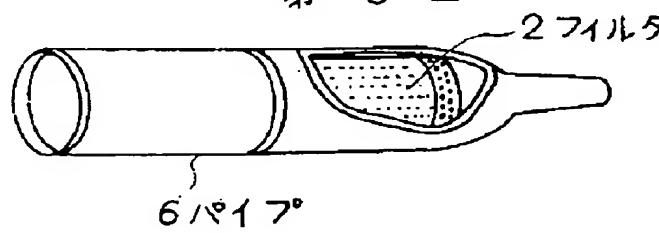
第 3 図



第 4 図



第 5 図



1069

実用新案登録出願人 美野 芳隆 1009